

2006 年 6 月 28 日

住友化学株式会社

天敵農薬「ミドリヒメ[®]」の全国向け販売について

住友化学は 2006 年 6 月 28 日、琉球産経株式会社（以下、「琉球産経」）と共同開発を行い、2005 年 6 月 22 日付けで登録取得した、天敵農薬「ミドリヒメ[®]」（商品名）の販売を開始します。

「ミドリヒメ[®]」の有効成分は、ハモグリバエ類の寄生ハチ（天敵）であるハモグリミドリヒメコバチです。このハチは日本に広く分布しており、十数種類以上の土着種が知られているハモグリバエ類の寄生ハチの中でも優先種とされています。

「ミドリヒメ[®]」は、この成虫 25 頭を 15ml のプラスチックボトルに入れた製品です。すでに琉球産経はこの「ミドリヒメ[®]」を、沖縄県を中心に IPM（総合的病害虫管理）や減化学農薬栽培を志向する農家を対象に販売していましたが、今般、住友化学が協友アグリ株式会社（以下、「協友アグリ」）とともに、トマト、ナスを中心とした施設栽培分野での普及を狙って全国に向け販売を行うものです。「ミドリヒメ[®]」の製造は琉球産経が行い、これを住友化学が商系流通にて、協友アグリが系統流通にて販売します。

放飼された「ミドリヒメ[®]」(*)はハモグリバエ類の幼虫の体液を摂取すると共に幼虫体内に産卵し幼虫を死亡させます。孵化した「ミドリヒメ[®]」の幼虫はハモグリバエ類の幼虫体内で成長し、羽化します。羽化した次世代の成虫は再び別のハモグリバエ類の幼虫に産卵し、これらを繰返して次々と増殖しハモグリバエ類の密度を抑制する事により、作物を保護します。

※使用量は 10 a あたり 100 頭（製品ボトル 4 本）

「ミドリヒメ[®]」の特長は、

- 1.合成化学農薬では防除困難とされる施設園芸作物のハモグリバエ類に対し、高い防除効果を示す。
- 2.作物への処理はボトルから直接放飼することにより行うため、簡易に行える。
- 3.土着種のため環境（生態系）への負荷が低く、人体に対しても安全性が高い。

住友化学は「ミドリヒメ[®]」に影響が無く、他の天敵にも影響が少ない、「プレオフロアブル[®]」を販売しております。当社はこれまで減化学農薬栽培の手段として注目を集める IPM に注力し、B T 剤や天敵農薬等の開発を進めてまいりました。「ミドリヒメ」の販売開

始は I P M防除体系の製品拡充に貢献することができるものと考えています。

住友化学は、農業化学を中核事業の 1 つと位置付け、世界 110 カ国以上でグローバルに事業展開し、日本においては水稻、野菜、果樹、家庭園芸等の分野で幅広く事業を行っております。今後も農薬、肥料、飼料添加物等の新製品の開発・販売を行い、ユーザーのニーズに応えることにより農業生産性向上への取り組みを総合的に進めてまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ

住友化学株式会社

IR・広報部 電話： 03-5543-5102

【ご参考】

琉球産経 概要

社名：琉球産経株式会社

社長：新垣 勲

設立：昭和 36 年 5 月

所在地：沖縄県豊見城市字高安 586 番地

資本金：95,000 千円

事業内容：農薬、その他化学工業品の製造及び輸出、輸入ならびに販売

従業員数：50 名(平成 17 年 12 月末時点)

協友アグリ 概要

社名：協友アグリ株式会社

社長：浅山 哲夫

設立：昭和 13 年 3 月

所在地：神奈川県川崎市高津区二子 6-14-10

資本金：2,250,425 千円

事業内容：農薬製造業

従業員数：243 名(平成 17 年 10 月末時点)